

9.3 一般公開

近年、天文学の観測装置は、次第に大型化、海外・宇宙空間進出の傾向が強くなり、一般の人々が身近な所でそれらの施設や観測現場に触れて学習できる機会が減りつつあります。そのような中、青少年を始めとしたより多くの人々に天文学の意義や研究成果の伝達を行なうべき大学の役割は重要となって来ています。将来を担う若者を中心とする多くの人々が、実際に国内の地上天文台で天体を自分の目で観察したり、体で天体観測の経験をしたり、観測装置や生データが科学的データへと解析されて行く過程を現場の研究者と共に見聞したりすることにより、天文学・宇宙物理学の実体や具体像を把握し、他の様々な科学分野との関連性を見出し、理科学習の意義や理工学の健全な進化の必要性を感じ取るきっかけを提供できれば、と我々は願っています。

そう言う意図の下、当天文台では今年度も9月10日(土)に、花山・飛騨天文台同時一般公開(太陽宇宙活動デジタルライブ)の実施しました。この事業の主たる内容は、「インターネットで結ばれた2天文台間でデジタルデータをライブ交換しながら音声・画像によるリアルタイム対話を行なう『デジタルライブ』」、「普段プロが用いている望遠鏡による昼間の太陽観察、夜間の月惑星・星雲星団観察」、「小型望遠鏡や肉眼で夜空を眺めながらの星空教室」、「来訪者自ら手を動かす工作教室やクイズラリー等の参加型企画」、「若手研究者による各種講演会」などから成ります。

以下に、今年度の花山天文台と飛騨天文台での各々の開催内容を、より具体的に紹介致します。



(左) 飛騨天文台におけるデジタルライブ発信中の様子。左奥のモニターに花山天文台の様子が映っており、その上に観測室内を中継するカメラが付いたテレビ会議システムが設置されている。更に中央のPCディスプレイ上に表示されている生の太陽画像や、右手に設置しているDVカメラによる映像も並列に中継している。(右) 花山天文台におけるデジタルライブ受信中の様子。右側のテレビ画面上には飛騨天文台の観測室内の様子が映って解説スタッフとの対話ができ、スクリーン上には太陽望遠鏡で撮影したリアルタイムの太陽画像や解説資料、風景などが映し出されて行く。

(上野)

花山天文台での開催内容

花山天文台では、過去最高の600名を越える人数の幅広い年齢層の方々の参加がありました。曇りがちで夕方には激しい夕立ちとなる生憎の天気でしたが、デジタルライブによる飛騨天文台で撮影されたリアルタイムの太陽像や、花山天文台の様々な望遠鏡とその観測データの紹介や講演会を中心に、普段見ることのできない太陽の姿を感じてもらえたと思います。

また、研究紹介のポスター展示や昔の観測装置を置く天文台歴史館やいくつかのミニ講演会も行ない、各所で参加者からの熱心な質問がありました。更に、「彗星を作ろう」、「惑星モバイル」などの工作教室や、毎年恒例の人気企画の「クイズラリー」などの参加型のコーナーも設けました。

催しものの多くは、大学院生と機関研究員(ポスドク)や若手の非常勤職員を中心にして企画準備されたもので、課題研究・課題演習やポケットゼミなどの学部学生も積極的に役割を分担してくれました。また、京都大学以外からも共同研究者や他大学へ進学した卒業生の方にもお手伝い頂きました。



(左) 講演会



(右) ザートリウス望遠鏡

(石井)

飛騨天文台での開催内容

昨年度は台風の影響で見学の受入が中止になってしまいましたが、今年度は再び約130名もの大勢の方々が飛騨天文台を来訪されました。天候は日没後は雲の多い天気になりましたが、日中はまずまず晴天に恵まれ、直接来台された方にも、デジタルライブを通して花山天文台に来られた方々にも、生の太陽を観察して頂く事ができました。

今回の具体的な開催内容は、ドームレス太陽望遠鏡による多波長での太陽表面の諸相の紹介、分光器による太陽スペクトルの観察、太陽磁場活動望遠鏡での迫力ある高分解能太陽全面像の観察、フレア監視望遠鏡による最近の太陽活動状況の紹介、東洋一の65cm大屈折望遠鏡においては、それで撮影された写真の展示・解説、60cm反射望遠鏡の仕組みやそれによる激変星観測の解説、などと言った各観測設備を用いたセミナーに加え、食堂ホールを利用しての若手研究者による講演会や、セロテープや偏光板を用いたステンドグラス等の工作教室を実施し、それらと並行して花山天文台の来台者に向けてのデジタルライブ・対話型セミナーを行ないました。

日没後には月面や金星の観望に加え、星空教室を用意しておりましたが、曇りがちであったため、併行して続行していた工作教室は観望の待機を兼ねて大盛況となり、少年少女を始めとする大勢の方々に、知的好奇心を満たす心地良さを体感して頂きました。

また、今年も飛騨地区においては昨年までと同様、高山市教育委員会や上宝町教育振興課を始め、飛騨市など周辺地域の皆様を中心に、御支援・広報等の御協力を頂き、盛況の内に催しを終わらせることができました。御協力頂きました方々に感謝申し上げます。



(左) ドームレス太陽望遠鏡による詳細な太陽表面の観察と解説 (右) 太陽磁場活動望遠鏡で観測中の太陽全面像や活動現象の紹介



(左) まさに老若男女の人々で大盛況の工作教室 (右) 毎年大人気の巨大な 65cm 屈折望遠鏡

(上野)